

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

② 施設・事業所情報

名称： わらベシーサイド保育園	種別： 認可保育所
代表者氏名：小河原 利明	定員（利用人数）：120名（110名）
所在地： 横浜市金沢区富岡東4-13-4	
TEL：045-778-1141	ホームページ http://www.seishinfukushikai.jp/warabes.html?msclkid=6f7f0915c15b11ec8b57df2241f8d230
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2006年 4月 1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 清心福祉会	
職員数	常勤職員： 23名 非常勤職員 10名
専門職員	（専門職の名称）園長 1名 栄養士（管理栄養士） 2名（1名）
	保育士 26名 調理員 2名
	看護師 1名 事務員 1名
施設・設備の概要	（居室数）
	乳児室（0～1歳児） 2室 建物の構造：鉄筋コンクリート
	幼児室（2～5歳児） 4室 2階建て
	沐浴室（トイレに併設） 12室 建物延べ面積：999.64㎡
	事務室 1室 園庭： 604.61㎡
地域子育て支援室 1室	

③ 理念・基本方針

【保育理念】

（法人）我々、社会福祉法人清心福祉会職員は「敬天愛人」の言葉を仰ぎ、奉仕の精神、慈愛の心を育み、天から与えられた役割を果たすべく、社会福祉事業で平和な社会に向けて貢献していきます。

（施設）私たちは、子どもたちの最善の利益を尊重し、地域に開かれた、そして地域に愛され、信頼される保育園をめざし、地域と一体となって、豊かな人間性を持った子どもの育成を目指します。

【基本方針】

豊かな環境の中で全身を使って遊ぶとともに、友達や大人との関わりを通して、自己発揮できる意欲のある子どもに育てる。

④ 施設・事業所の特徴的な取組

【立地および施設の概要】

わらベシーサイド保育園は京急富岡駅から徒歩約10分、目の前に根岸湾につながる舟だまりが広がる開放感ある立地です。地域ケアプラザ、ふなだまり公園に隣接

し、周辺には地区センターのほか、富岡八幡公園や富岡総合公園をはじめとする大小の公園が多数あります。鉄筋コンクリート2階建ての園舎は約1000㎡の広さがあり、保育室、ホール、テラスとも広々としています。約600㎡の園庭、約40㎡の畑、20台分の駐車場も備えています。定員120名のところ、0歳から5歳まで、110名の園児が在園しています。

【園の特徴】

設置法人の本部は八王子にあり、高齢・学童・保育の分野にわたり「敬天愛人」の理念の下、約30施設を運営しています。当園は、平成18年に設置法人内で3番目の保育園として設立されました。コロナ禍で休止があったものの、特色ある保育として、外部講師による体操、スイミング、英語、幼児学習の指導の時間を設けています。自然に恵まれた環境を生かして週の半分は散歩に出かけ、アスレチック風の大型固定遊具（わらべランド）のある広い園庭や、ホール、テラスでの遊び・運動の時間も多く設けています。子どもたちは十分に身体を動かすことができ、のびのびとした保育が行われています。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2021年6月18日（契約日） ～ 2022年4月9日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	3回（2017年度）

⑥ 総評

◇特に評価の高い点

1. 一人ひとりの子どもを受容した子どもの状態に応じた保育

職員は、クラスの中で常に話し合い、個々にふさわしい対応をするように努めています。一人ひとりの話にゆっくりと耳を傾けることを大切にしています。子どもの個人差を尊重し、難しそう場面では手を貸したり、遊びの設定を少し変えたりしています。職員が牛乳パック等の廃材から工夫して、手作りの椅子や机、ままごと用のレンジや流し台等をいくつも作っており、それらを用いてコーナーを作り、温かい雰囲気の中で、好きな遊びができるようにしています。

2. 保護者や保育士の安心につながる看護師の活動

看護師が常駐しており、毎日、各保育室を巡回して、一人ひとりの子どもの健康状態を確認しています。ケガや発熱があったとき等は、すぐに保育士からの報告・相談を受け、指示や助言をしています。入園時の面接に同席し、入園説明会では保健に関する事項を説明しています。毎月「ほけんたより」を発行し、年間保健計画に沿って保健指導に取り組んでいます。

3. 子どもがおいしく楽しく食べることのできる献立・調理の工夫

栄養士および調理員は、旬の食材を使用して、量や食べやすい調理方法を検討しながら、おいしい給食を提供しています。季節の行事に合わせ、「運動会がんばろうとんかつ」や「鬼の子カレー」、卒園前のリクエストによる人気のメニュー、郷土食等を提供する「おたのしみ給食」、誕生日を祝う「お誕生日おめでとう献立」等、楽しいメニューを考えています。名前を書いて「おめでとう」の旗を立てたケーキ等、園児が喜ぶ様々な工夫をしています。

◇改善を求められる点

1. 職員全員が参画し、共同して取り組む保育の質の向上

指導計画は各クラスの中で見直しており、他のクラスの職員を交えて話し合う機会が少ない状況です。保育に関わる職員全員で、PDCAサイクルに基づく評価・見直しをすることが望まれます。また、園長が保育士の自己評価および保育所の自己評価をまとめ、定期的に第三者評価も受審していますが、その結果が職員に十分に周知されていません。職員も参画して、園の自己評価や第三者評価の結果から課題を明確化し、改善策を検討し、園全体で計画的に実施していくことが望まれます。

2. 計画に基づいた園内研修の実施

設置法人による入職時研修や階層別研修が実施され、キャリアアップ研修をはじめとする外部研修への参加を推奨していますが、園内研修は十分に行われていません。基本的人権への配慮、虐待、プライバシー保護、個人情報保護、事故防止等について、職員同士で話し合ったり、学び合う園内研修の計画的な実施が期待されます。また、経験や習熟度に配慮した個別的なOJTを適切に実施することが望まれます。

3. 設置法人と共同して計画的な人材確保・育成

保育士の確保・定着が慢性的な課題となっています。設置法人と共同して、必要な人材を確保することが望まれます。また、設置法人が現在取り組んでいる総合的な人事管理の仕組みの整備を、当園においても有効に運用されることが期待されます。園長による職員との面接においても、職員一人ひとりの育成に向けた、目標設定・目標管理が実施されることが望まれます。

4. 園としての中・長期計画の策定

設置法人の中・長期計画はありますが、園では単年度の事業計画のみ策定しています。設置法人の協力を得ながら、園においても地域の子どもや保育に関わる経営環境や課題を把握・分析し、中・長期のビジョンを明らかにすることが望まれます。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

わらべシーサイド保育園では、平成28年度以来の第三者評価を実施いたしました。前回の第三者評価で指摘された「課題や改善することが期待される事項」がいかにか改善されているかを観て頂ける良い機会だと考えました。又、新たに改善が望まれる点があるかを評価して頂き、今後の保育運営に活かして行きたいと考えています。

前回では「現状の保育維持が中心となり保育の技術向上へのチャレンジが課題」との指摘を受けておりましたが、今回に関しては、一人ひとりの子どもを受容した子どもの状態に応じた保育の実践を評価して頂きました。又、新しく「保護者や保育士の安心につながる看護師の活動」について高い評価を受けることが出来ました。

今回の第三者評価の総評を踏まえて、高く評価をして頂いたことに対しては更なる充実を目指して保育を実践して参ります。「改善を求められる点」については、職員間で話し合い改善を図って行きます。

最後に評価調査員の皆様には、長時間にわたり細部まで評価頂き、ありがとうございました。又、お忙しい中アンケートにご協力下さいました保護者の皆様方にはお礼申し上げます。

わらべシーサイド保育園
園長 小河原 利明

⑧ 第三者評価結果

別紙2のとおり